



令和6年度 当初予算案の概要





一般会計予算 72億6,900万円
(前年度比 3億1,000万円増 +4.5%)

特別会計予算 43億1,707万円
(前年度比 4,986万円増 +1.2%)

企業会計予算 14億4,190万円
(前年度比 1億2,826万円増 +9.8%)

全会計 130億2,797万円
(前年度比 4億8,812万円増 +3.9%)



一般会計予算は過去2番目の規模
予算総額は、過去最大規模



未来を担う人を育てる取組

- ・ 親子の健康 乳幼児期の切れ目ない支援
- ・ 開成町ならではの学び

暮らしや健康を守り、生活の質を向上させる取組

- ・ 安全・安心
- ・ いつまでも元気に 自分らしく

社会環境の変化に対応し、持続可能なまちをつくる取組

- ・ 町民本位の行政DX
- ・ ゼロカーボンシティの実現
- ・ 駅前通り線周辺地区土地区画整理事業

■ 歳入の特徴

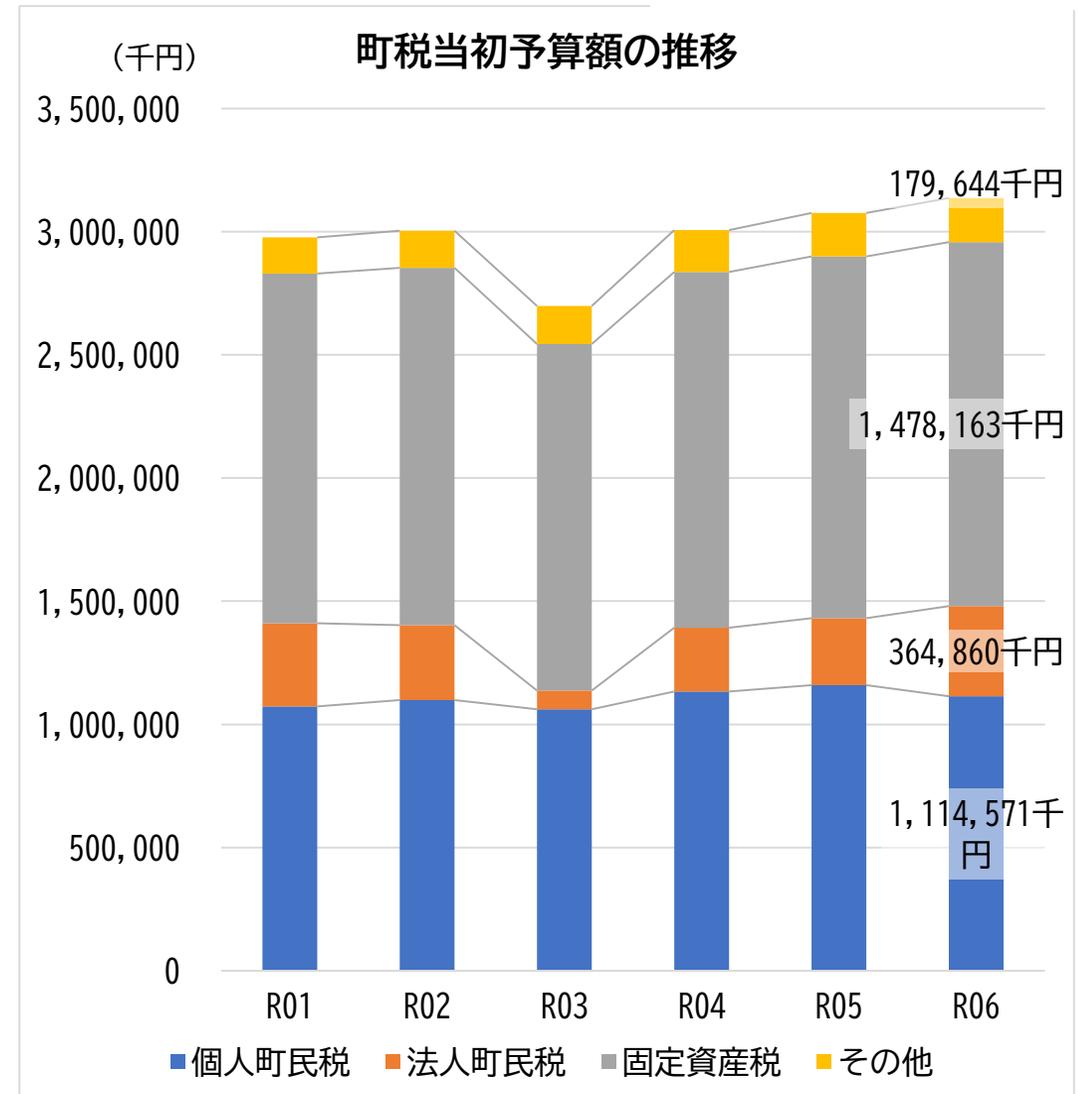


○町税 31億3,724万円 (前年度比+6,093万円)

- ・個人町民税は、賃金増及び人口増の一方で、定額減税の影響により減
- ・法人町民税は、企業業績の変動等により増
- ・固定資産税は、評価替による家屋分の減の一方で、地価上昇による土地分の増により増

○町税以外の歳入

- ・地方特例交付金は、個人町民税の定額減税の補てんにより増（予算額1億1,620万円、前年度比+8,320万円）
- ・地方交付税は、法人町民税の増収により減（3億3,100万円、△1億円）
- ・町債は、町民センター大規模改修事業及び駅前通り線周辺地区土地区画整理事業に係る借入により増（8億5,600万円、+2億3,720万円）



子育て支援



妊産婦の各種健診費用助成の拡充（178万円）

保険適用外となっている乳児の1か月健康診査費用及び単胎妊娠よりも高い頻度の受診が推奨される多胎妊婦の妊婦健康診査の追加受診費用に対する助成を新たに行います。



産後ケアの充実（223万9千円）

出産後に心身の不調や育児不安等を抱える母親とその子を対象に実施する産後ケア事業について、日帰り型・訪問型に加えて、宿泊型事業を実施するほか、産婦健康診査費用の助成額と受診回数を拡充します。

電動アシスト付3人乗り自転車等貸出事業（6万円）

多子世帯の外出支援として、幼児2人を自転車に同乗できる3人乗り自転車の貸出事業を推進します。

こども家庭センター開設（446万5千円）

全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関として、こども課内に「こども家庭センター」を設置します。

こどもに関する各種データ連携による支援事業（397万4千円）

庁内各課が保有するこどもに関するデータを連携することにより、支援が必要な家庭を早期に発見し、早期の支援に繋がります。



教育



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに

中学校体育館空調設置に向けた設計（990万円）

夏季期間中の猛暑対策として、文命中学校体育館に空調設備を設置するための設計を行います。

部活動の地域移行（533万2千円）

中学校部活動の地域移行本格実施に向け、令和6年度は文命中学校サッカー部、吹奏楽部の地域移行を行います。

幼稚園のICT環境整備（198万8千円）

幼稚園におけるタブレット端末の活用を開始します。画像や動画・音楽を園児と共有することなどにより、保育の幅を広げ、幼稚園教育の質の向上を図ります。



生涯学習



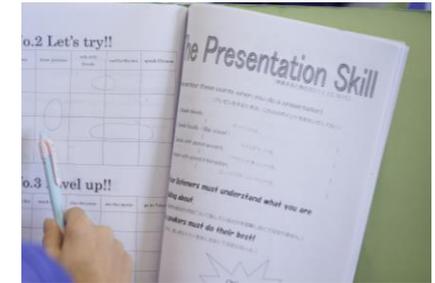
3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに

英検等補助（200万円）

英語を学びたい子どもたちを応援し、グローバル人材の育成を図るため、18歳までのこどもの英語に関する検定受験料の助成を行います。



町民センター老朽化対策（3億1,483万1千円）

生涯学習の拠点である町民センターは竣工から37年が経過し、各種設備が老朽化していることから、老朽化対策工事を行います。

大活字本購入（101万円）

町民センター図書室において、まち・ひと・しごと創生基金（企業版ふるさと納税）を活用し、通常の活字の大きさでは本が読みづらい方のための大活字本等を購入します。

安全・安心



自転車ヘルメット着用促進補助事業 (45万円)

自転車乗車時のヘルメット着用率の向上を図るため、自転車乗車用ヘルメットの購入費を補助します。



通学路等ブロック塀調査 (342万1千円)

切迫性が指摘されている地震・風水害等の自然災害対策として、ブロック塀倒壊による被害のリスク軽減を図るため、通学路や緊急輸送道路を中心に、ブロック塀の耐震診断調査を行います。

木造住宅耐震改修促進 (120万円)

地震に強い安全なまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断費用及び耐震改修工事等費用の助成を拡充します。

消防団資格取得奨励 補助(40万円)

消防団における消防技術の向上と団員の確保を図るため、団員の資格取得に対する助成制度を創設します。



地域集会施設の老朽化対策 (1,018万6千円)

地域活動の拠点、災害時の避難所となる地域集会施設については、計画的に老朽化対策、維持整備、修繕を実施します。令和6年度は円中自治会館の外壁塗装等工事を行います。

防犯カメラ設置 (99万5千円)

地域防犯力の向上を図るため、新たに3箇所の防犯カメラを設置します。



食育・健康



県立吉田島高校連携食育事業（33万円）

栄養バランスの良い食生活の実践、地産地消の定着などの食育への関心・理解を高めるきっかけとして、県立吉田島高等学校と連携を図り、はるみ米及び弥一芋を取り入れたレシピの考案、お弁当化等を実施します。

带状疱疹ワクチン（134万円）

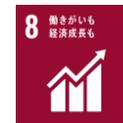
带状疱疹の発症による深刻な健康被害を未然に防止するため、特に発症率の高いとされる50歳以上の町民の带状疱疹ワクチンの接種費用を補助します。



フレイル予防（385万円）

65歳以上の方を対象として、健康な状態と要介護状態の間であるフレイル（虚弱）を予防し、健康寿命を延伸することを目的としたフレイル予防事業に取り組みます。各地区

産業



開成弥一芋生産拡大補助(49万5千円)

農業の担い手育成、水田を活用した高付加価値型農業の推進を図るため、開成町農業振興補助制度に、開成弥一芋の生産拡大に対する助成を追加します。



インバウンドツアー受入体制の強化（15万6千円）

町の魅力を多くの観光客に知ってもらうため、収穫体験等を行う着地型観光ツアーの受け入れを行うとともに、受入体制の強化のための勉強会を実施します。

でのフレイルチェックやハイリスク者への個別支援、介護予防事業を各課が協力して実施します。

まちづくり



駅前通り線周辺地区土地区画整理事業 (8億1,424万8千円)

良好な市街地の形成及びインフラの整備による都市機能の強化を図るため、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業を推進します。

令和6年度は、引き続き、土地売却検討者を対象とした用地交渉や、事業区域内にある建物の補償調査を実施します。



官民連携手法の調査・研究 (100万円)

新しいまちづくりを推進するため、PPP・PFI等の官民連携による町政運営に資する方策を調査・研究します。

地球温暖化対策の推進 (1億1,971万3千円)

開成町ゼロカーボンシティ創成補助制度等により町民や町内の中小企業を対象とした補助制度を推進します。

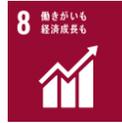
高齢者等の熱中症対策のために、65歳以上の高齢者のみ又は65歳以上の高齢者と障がい者の方のみの低所得世帯のエアコン購入・設置費用の助成を行います。

また、町有公共施設のうち、町民センター、福祉会館、開成小学校、開成南小学校の照明をLED化することで、町有公共施設からの二酸化炭素排出量の削減を図ります。





行政DX



8 働きがちな
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを

電子申請の拡大（62万4千円）

LINE公式アカウントにおいて、様々なメニューを追加し、機能を拡大します。

また、電子申請システムにキャッシュレス決済機能を追加し、各種証明書の交付申請と交付手数料の支払いのオンライン化を進めます。



地域福祉支援システム （546万9千円）

災害時の避難行動要支援者名簿の管理システムを導入します。これまで手作業で行っていた要支援者情報の更新を自動化するとともに、地図情報システムとの連動により要支援者情報を可視化し、民生委員等の地域の支援者との情報共有を迅速化します。

町制施行70周年



11 住み続けられる
まちづくりを

町制施行70周年記念事業（150万円）

令和7年2月1日に町制施行70周年を迎えることから、記念式典や町民企画事業の実施を通じて町全体でお祝いします。



職員の働き方改革（1,617万6千円）

デジタル技術の活用により効率的で質の高い働き方を実現するため、生成AIツール、紙帳票電子化ツール、文書管理システムを導入します。

また、多様な働き方を実現するため、テレワークに対応した業務用PCやデュアルモニターを増設します。



第五次開成町総合計画の最終年度

将来都市像

「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」

現計画の進捗状況や成果・課題の総点検
新しい総合計画の策定に向けた準備

新しい総合計画検討のキーワード

“人と自然が調和した田舎モダンのまち”

もっといくぜ開成・好循環

町民の幸せ・笑顔

教育のまち・ALLかいせい・公民連携